

科目区分	専門教育科目	授業科目名	保育実習指導Ⅲ			科目コード	26Y507	担当者	織田 芳人、本村 弥寿子、中村 浩美、船勢 肇、野田 章子、山中 慶子、三原 ミヨ子、小槻 智彩、宮崎 美緒子			担当形態	オムニバス
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	2年次	開講学期	春学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	保育士選択必修		
授業形態	演習	履修条件	入学時から本科目履修開始までの通算GPAが1.20未満の者は、原則として、本科目を履修することができない。						教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分			
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連							科目に含めることが必要な事項				

授業の主題	保育実習Ⅰでの課題をもとに、児童福祉施設（保育所以外）における個別支援計画の作成と実践の方法を学習する。さらに、実習の総括と自己評価をおこなうことで保育実践力を培い、保育士の仕事内容や職業倫理について理解を深める。			課題等への対応（フィードバックの方法等）	実習後に全体指導（実習報告会）や個別の事後指導をおこなう。
授業の方法	施設担当教員を中心として、学科教員がオムニバスで授業をおこなう。講義やグループ学習、実技、講演など授業内容に応じた形態となる。			アクティブ・ラーニングの実施方法	自身の実習施設に関する調査・情報収集や、グループでの報告会などのアクティブラーニングを随時取り入れる。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	オリエンテーション	履修科目や保育実習の経験を踏まえ、さらに保育実習への意識を高める。	第9回	施設での生活について（Ⅲ）	第4・5回をもとにレポート（個別の指導計画書の作成含む）にまとめる。	
第2回	保育技術実践（絵本・紙芝居）	絵本・紙芝居の活用法についての予習と復習	第10回	実習先オリエンテーション（事前訪問）	事前訪問で気づいたことをまとめる。	
第3回	保育技術実践（製作）	子どもが好きな製作物についての予習と復習	第11回	実習先オリエンテーション（事前訪問）	第10回のまとめをもとに、重点課題を見直す。	
第4回	施設での生活について（Ⅰ）	施設で生活する子どもの実情と課題を考える。	第12回	施設実習前 個別指導	実習中に取り組むべき課題を明確にする。	
第5回	施設での生活について（Ⅱ）	施設で生活する子どもの実情と課題を考える。	第13回	施設実習後 個別指導 実習のまとめ	実習の内容等について振り返り、成果と課題をまとめる。	
第6回	保育技術実践（運動）	運動遊びの種類、実践方法についての予習と復習	第14回	施設実習意見交換会	施設実習の記録を振り返り、情報を整理しておく。実習内容についてのディスカッションを行う。	
第7回	卒業生講演会	講義内容と感想をレポートにまとめる	第15回	保育実習意見交換会	保育実習の学び、情報の整理をしておく グループディスカッション	
第8回	保育実習Ⅲ（施設）全体指導	実習における注意事項、課題等について事前指導を行い、理解を深める。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	教育・保育実習の手引き、これからの時代の保育者養成・実習ガイド/大豆生田啓友・渋谷行成・鈴木美枝子・澤里喜/中央法規	田	受講生へのメッセージ	保育実習指導Ⅰ（施設）で学んだことに併せて、施設で生活する子どもや利用者一人ひとりに応じた支援の内容や方法についての事前学習が必要です。施設の実情や子ども・利用者の実態を理解してしっかりと実習課題に反映してください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし			

評価基準															
学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点学修成果の(%)	評価方法の配点比率 (%)					学修成果の小分類			尺度				
			定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)
卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)	尽心	① 学習意欲													
		② 規律性													
	知識・技能	③ 知識	70			70			保育実習Ⅲに必要な知識を獲得し、自分の目標や課題を明確に捉えることができる。	専門的知識	提出物(報告書、レポート)	保育実習Ⅲに必要な知識を十分に獲得し、自分の目標や課題を明確に捉えている。	保育実習Ⅲに必要な知識を十分に獲得し、自分の目標や課題を捉えている。	保育実習Ⅲに必要な知識をある程度獲得している。	保育実習Ⅲに必要な知識をある程度獲得していない。
		④ 技能													
	創造	⑤ 情報活用能力													
		⑥ 課題解決力													
	表現	⑦ 言語活用能力													
		⑧ コミュニケーション力													
	実践	⑨ 主体性	30					30	保育実習Ⅲに必要な知識を積極的に学び、提出物を期限内に提出できる。	積極性、責任感	受講態度、提出物/提出期限の厳守、作成要件の適否	積極的にすべての授業に参加し、提出物を指示通りに整え早めに提出できる。	積極的に授業に参加し、提出物を指示通りに整え期限内に提出できる。	授業に参加し、提出物を期限内に提出できる。	授業に参加し、提出物を提出できる。
		⑩ 協働性													授業への参加に消極的で、提出物を提出できない。
合計		100			70		30								